

商業学科課題研究

「高校生が小学生にロボットプログラミングを教えるリレー型オリジナル体験学習“ロボメイツ”」について

2021年度から行っている、尼崎市立尼崎双星高等学校でのロボメイツ授業を今年度も実施し、商業学科で課題研究の授業を受ける3年生が、ロボット体験イベントや小学校での授業などさまざまな活動に取り組みました。

その活動として9月25日(水)と10月30日(水)の2回、上坂部小学校へプログラミングの出前授業を実施しました。もう一つは11月13日(水)には「ポノポノプレイス」での小学生向けロボット体験イベントで初対面でいきなりロボット教室を実施するのではなく「じゃんけん列車」のゲームで楽しく遊び、笑顔あふれる和気あいあいとした雰囲気になった後、高校生たちが段ボールをかぶり、ロボットに扮して先生役をし、アームロボットで釣りゲームをするなどゲーム感覚でロボット操作を楽しんだ。

また、10月6日(日)の尼崎市民まつりのイベントにも参加し、小学生向けのロボット体験教室を行い、たくさんの小学生に来てもらい、楽しんでもらえた。

①計画に対する達成度

上坂部小学校、ポノポノプレイス、本校生徒、本校教員の目線から見て、いずれも計画に対して、十分な達成度であった。

②活動に伴う生徒や地域の変化

上坂部小学校の児童からは、「楽しかった」という感想をいただき、校長先生や先生方からは、「来年度もぜひ来ていただきたい」とのお言葉をいただいた。

ポノポノプレイスの子どもたちは、楽しみながらプログラミングを学ぶことができたようで、職員の方からは「来年度もお願いしたい」とのお言葉をいただいた。

本校生徒は、小学生に授業をすることで教えるという難しさを学び、反省点等を次の授業に活かしたりと、高校生ながらに良い経験ができた。

本校教員は、この1年間の活動を通して、生徒の自主性、積極性の大きな成長を感じることができた。

